

対象年度	令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム整備事業					予算事業名	ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム整備
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分
			03	01	04	2021	経常経費
総合計画体系	みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう					事業の区分	主要事業
	高齢者が生き生きと安心して暮らせる地域づくり						担当課係等
	高齢者福祉の総合的な推進						
事業期間	継続 (年度～ 年度)						
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】				【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
ひとり暮らし高齢者等の突発的な災害、急病、事故等の緊急事態に対する不安を解消し、安心して暮らせる環境をつくる。				筑西広域市町村圏事務組合消防本部管内の筑西市、桜川市が本市と同様の事業を実施している。			
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】				【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】			
ひとり暮らし高齢者等に対して、緊急通報装置及び付属ペンダントを貸与し、発報された場合はコールセンターに常駐する看護師が対応し、必要に応じて救急車を要請する。コールセンターから利用者に対し、定期的に健康相談や安否確認の連絡を行う。				在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯で世帯員のいずれかが要介護4、5相当の認定を受けている世帯。			
				【事業をとりまく環境の変化】			
				高齢化に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯も増加傾向にある。緊急時にはひとり又は高齢者のみであることが予想され、迅速に適切な対応をとるために有効な事業である。			
【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】			【令和 9年度 事業内容】	
緊急通報装置システム事業委託			緊急通報装置システム事業委託			緊急通報装置システム事業委託	

■事業費

		R05年度	R06年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	534	524			
	一 般 財 源	2,105	2,450			
歳 入 計 (千 円)		2,639	2,974			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	11 役員費	3	7			
	12 委託料	2,636	2,967			
歳 出 計 (千 円) (A)		2,639	2,974			
伸 び 率 (%)			12.69			
備 考	総合計画58ページ 予算書84ページ					

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動指標	緊急通報装置新規設置数	台	目標	35.00	55.00	75.00
	希望する高齢者宅に緊急通報装置を新規に貸与する。		実績	10.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	緊急通報装置利用数	台	目標	325.00	360.00	380.00
	緊急通報装置利用台数を増やし、高齢者が在宅で安心して生活を送れる。		実績	198.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置を貸与し緊急事態に備える本事業は、在宅で生活する高齢者やその家族の不安解消につながることから必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市がひとり暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置を貸与し、緊急事態に備える手段は、在宅で生活する高齢者やその家族の不安解消につながることから妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	業務委託にしたことにより、必要と判断される場合のみ消防本部につながるようになった。消防本部への誤報の減少や、委託にしたことにより事業費が半分以下になっている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	令和4年度に装置の通報先を消防本部からコールセンターへ切替えを行い業務委託にしたことにより、委託前と比較して事業費が半分以下になったことから効率性は妥当である。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	コールセンター方式になったことで、アナログ回線以外の利用でも利用できるようになったが、一部のケーブル電話等ではサービスが受けられない状況である。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	コールセンター方式となり、緊急時の対応のほか、定期的な健康相談が行え高齢者の不安解消にも役立っている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	新規申込にも遅滞なく機器設置の対応をしており、待機者を発生させず事業を進めている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
在宅高齢者やその家族の緊急事態に対する不安解消につながっている。 課題として、電話回線の種類によっては災害時にサービスが受けられない可能性があることが挙げられる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
在宅高齢者やその家族の緊急事態に対する不安解消につながっているため、事業を継続して実施していく。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
方向性の具体的内容 ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯のニーズ、通信環境の変化、民間事業の多様なサービス等を把握し、高齢者が自宅で安心して生活できるような安定的な事業運営を図っていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり